

附属資料

大村湾の概要

(1) 位置

大村湾は、北緯 33 度、東経 129 度 50 分付近の、我が国本土最西端の長崎県本土のほぼ中央部に位置する内湾であり、南北約 26km、東西約 11km の、ほぼ楕円形をした袋状の海湾です。

その位置は図-付 1 のとおりとなっています。

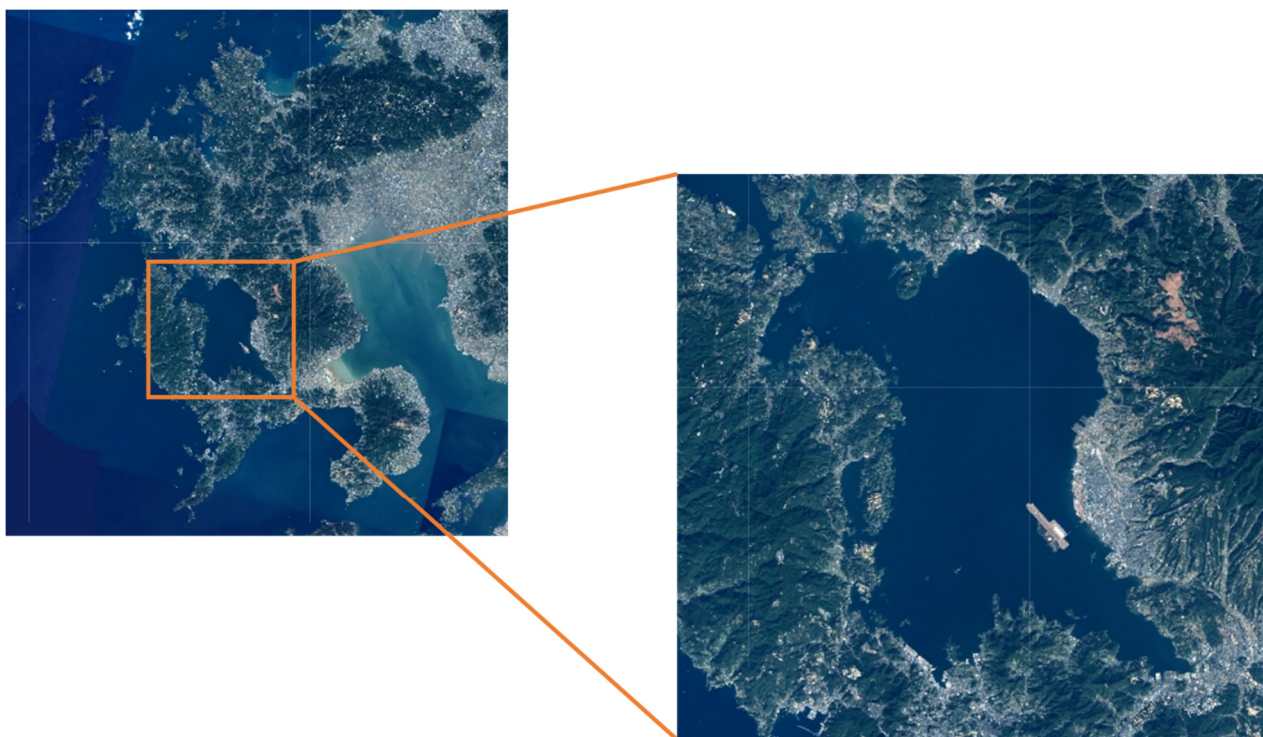


図-付 1 大村湾の位置 出典：国土地理院 地理院地図

(2) 地形

大村湾の大きな特徴はその閉鎖性であり、外海との接点である湾口部は針尾瀬戸と早岐瀬戸の 2 か所しかありませんが、いずれも湾の北部に存在しています。幅も針尾瀬戸が約 200m、早岐瀬戸が約 20m とあまり広くありません。そのため、潮汐等による外海との海水交換が乏しく、水質が悪化した場合、その回復には長い時間がかかります。

表-付 1 大村湾の諸元

項目		諸元	
	沿岸海岸総延長	約 313km	
地勢	面積	約 320km ²	
	最大水深	約 54m	
	平均水深	約 14.8m	
	容積	約 47 億 m ³	
	閉鎖度指数	54.29	
湾口	針尾瀬戸	幅員	平均約 300m
		水深	約 40m
	早岐瀬戸	幅員	平均約 125m
		水深	約 4m
湾岸	地方港	9 港(早岐、川棚、彼杵、大村、久山、長与、時津、小口、宮浦)	
	56 条港湾	2 港(三浦船津、小迎)	
	漁港	8 港(針尾、久津、松原、東浦、喜々津、伊木力、子々川、白浜)	

出典 沿岸海岸総延長：大村湾海岸保全基本計画(令和 4 年 12 月)

湾 岸：長崎県の港湾 2022 及び県内漁港一覧(令和 7 年 4 月 1 日現在)

環境省では、窒素又はリンが海洋植物プランクトンの著しい増殖を促す恐れのある海域として、全国 88 カ所を閉鎖性海域として指定しています。その中でも大村湾の閉鎖度指標 は高い方から 5 番目であり、全国的に見ても閉鎖性の高い海域であるといえます。

表-付 2 閉鎖度指標の全国上位 10 海域

	都道府県名	海域名	閉鎖度指数
1	京都府	久美浜湾	526.50
2	北海道	コムケ湖	203.54
3	新潟県	加茂湖	117.31
4	静岡県	浜名湖	115.96
5	長崎県	大村湾	54.29
6	北海道	能取湖	49.79
7	北海道	サロマ湖	42.97
8	福島県	松川浦	42.36
9	熊本県 鹿児島県	八代海	32.49
10	高知県	浦戸湾	23.28

出典：公益財団法人国際エメックスセンター

閉鎖度指標

[湾口幅] その海域の入口の幅 : W

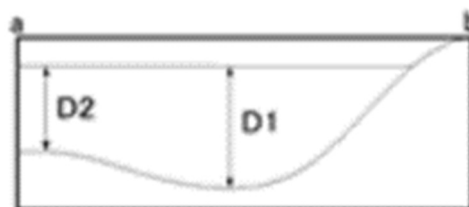
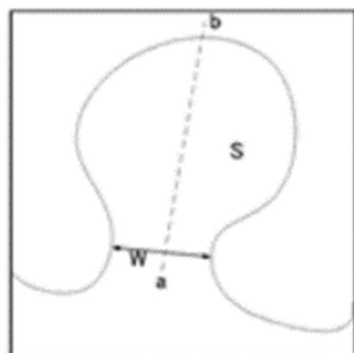
[面積] その海域の内部の面積 : S

[湾内最大水深] その海域の最深部の水深 : D1

[湾口最大水深] その海域の入口の最深部の水深 : D2

[閉鎖度指標] この数値が高いと、海水交換が悪く富栄養化のおそれがあることを示します。水質汚濁防止法では、この指標が 1 以上である海域等を排水規制対象としています。

$$\frac{(\sqrt{S} \times D1)}{(W \times D2)}$$



(3) 海底地形

大村湾の水深は最大で 54m、平均で 14.8m の比較的浅い海域です。しかし一方で、水深 5m より浅い場所が湾全体の約 5%程度と少なく、水質浄化作用や海洋生物を育む機能を担うといわれている干潟²⁷⁾や砂浜等の浅場にあまり恵まれていない海であると言えます。さらに、その浅場は昭和 50 年～平成 18 年の 32 年間で約 25%が埋め立て等によって消失しています。

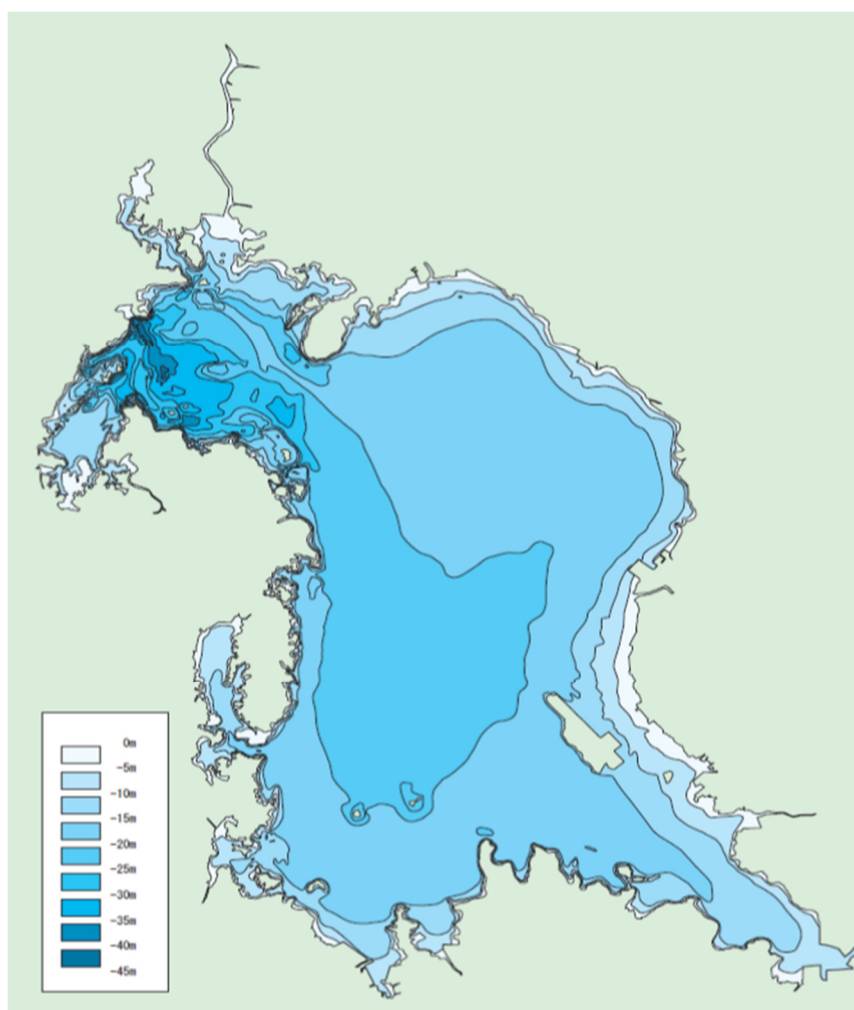
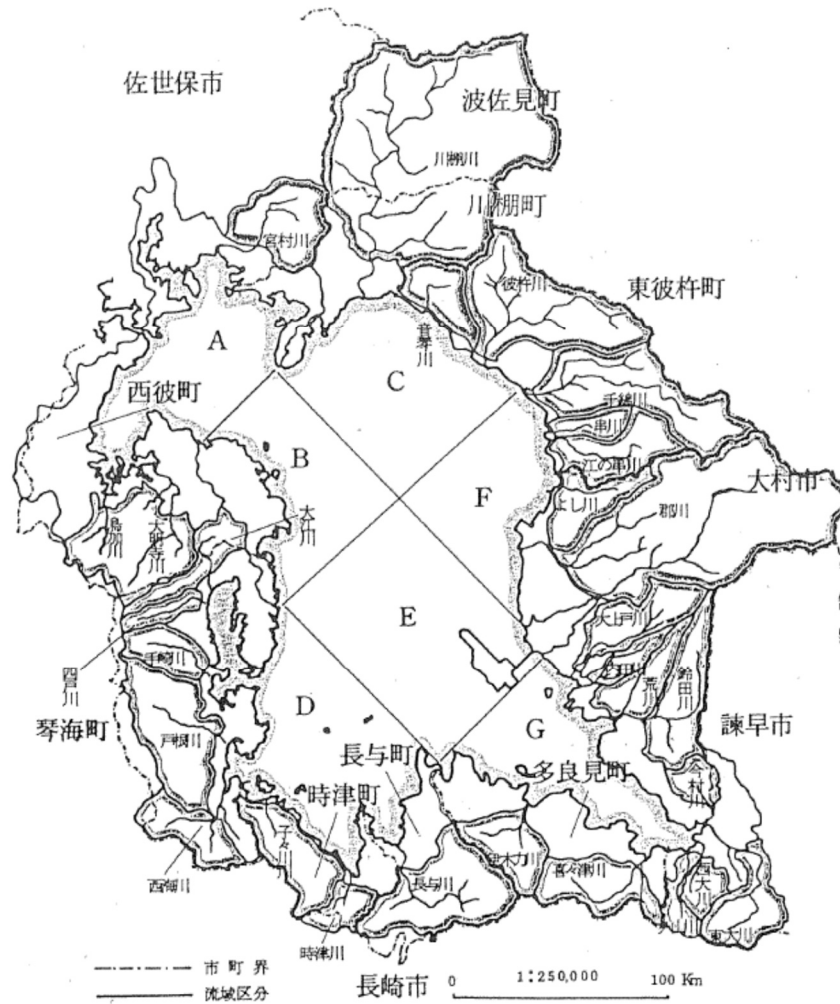


図-付 2 大村湾の海底地形図

(4) 流域

大村湾の流域は、5市5町(長崎市、佐世保市、諫早市、大村市、西海市、長与町、時津町、東彼杵町、川棚町、波佐見町)の範囲に及びます。

流域人口は令和6年度末現在275,150人となっており、同じ時点の本県の総人口1,244,627人の約22%になります。 住民基本台帳人口により引用



図付-3 大村湾流域図 (市町名は一部旧市町により表示)

(5) 流入河川

大村湾に流入する河川は全部で 26 水系、58 河川あります。閉鎖性が高い海域であるため、河川からの流入負荷を抑制することが大村湾の環境保全を図るうえで重要になります。大村湾に流入する主な河川は表-付 3 のとおりです。

表-付 3 大村湾における主な流入河川の概要

水系名	流域面積(km ²)	河川延長(km)
川棚川	81.4	19.4
郡 川	54.7	15.9
千綿川	27.5	3.2
東大川	26.0	9.1
彼杵川	25.4	6.8
長与川	19.8	8.9
大明寺川	19.5	3.9
鈴田川	18.0	5.8
宮村川	13.3	5.2
喜々津川	12.3	5.7

(6) 気象

大村湾付近の気象観測所である長崎地方気象台の気象観測結果(気温及び降水量)について、平年値(平成7年から令和6年の30年間)と令和6年の観測値の比較を行いました(図-付4,5)。その結果、気温については各月平年値と同等もしくは高い値が得られています。

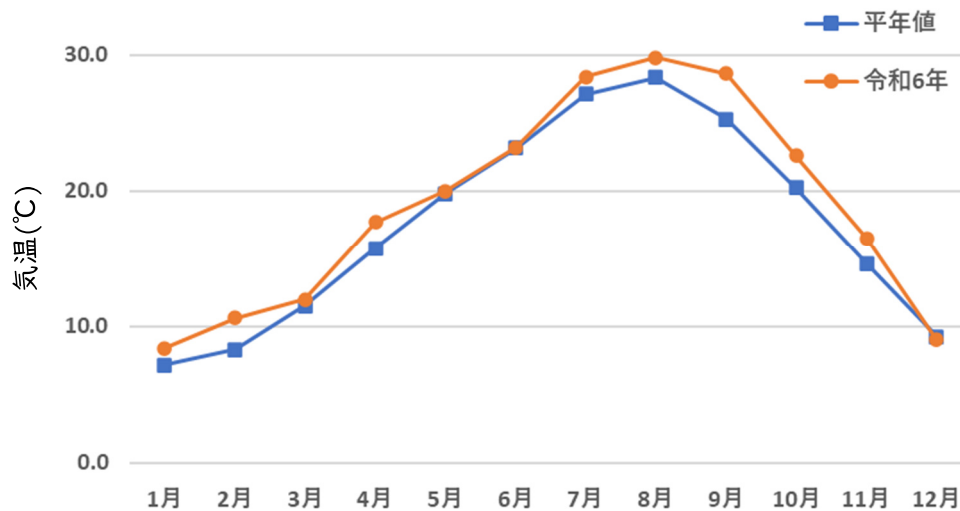


図-付4 令和6年(2024年)の気温と平年値の比較

出典：気象庁 HP

令和6年(2024年)降水量については、平年と比べ3月の降水量が2.5倍ほど多くなっています。線状降水帯が発生したわけではなく、気圧配置によって多雨が長期化したことが原因となっています。

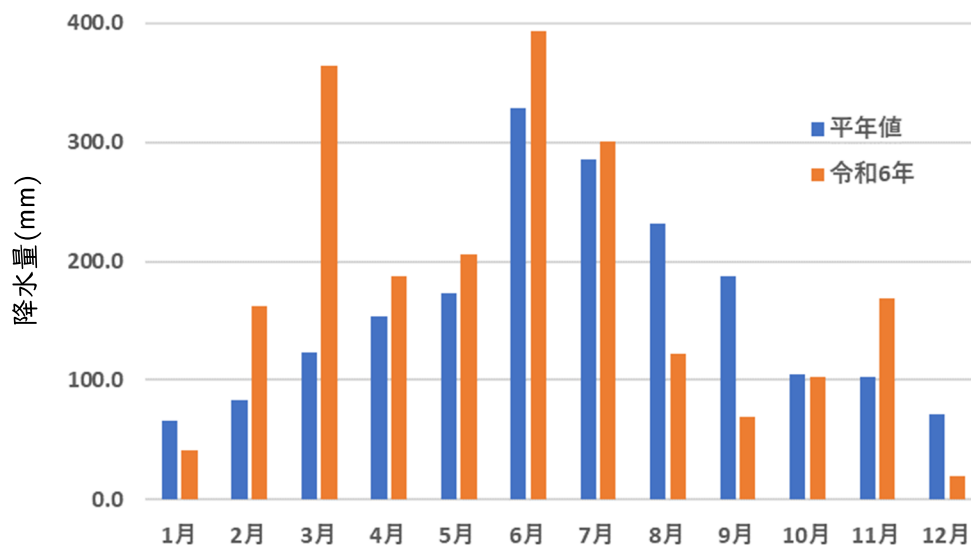


図-付5 令和6年(2024年)の降水量と平年値の比較

出典：気象庁 HP

北部九州への台風接近数に関して、平成 7 年から令和 6 年までの 30 年間の状況を図-付 6 に示します。30 年間の平均値は 3.5 個で、直近 10 年間(平成 28 年から令和 7 年)は 3.8 個であり台風の接近数は過去と比較し同程度であると考えられます。

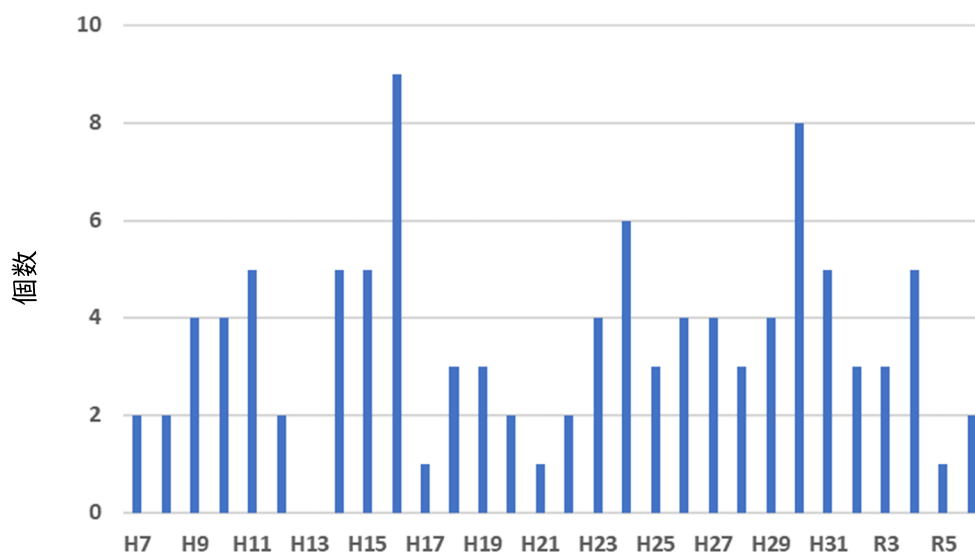


図-付 6 直近 30 年における台風接近数の推移

出典：気象庁 HP

(7) 自然環境

大村湾の東側には 1,000m 級の山々が連なる多良山系、西側には変化に富んだ海岸線をもつ西彼杵半島が位置しており、美しい自然景観を形成しています。特に、多良山系一帯は、その渓谷美と豊富な生物相により、昭和 26 年に本県最初の県立自然公園に指定されています。

大村湾及び流域には、多くの種類の貴重な動植物が生息し、豊かな生態系を形成していますが、その中でも多良山系は本県内で最も植物相が豊かな地域の 1 つであり、ヤマシャクヤクやセンダイソウは本県でも多良山系のみが生息しています。

また、大村湾沿岸においては、夏季に黄色の美しい花を咲かせるハマボウが多く生息しています。哺乳類では国の天然記念物に指定されているヤマネが多良山系に、魚類ではナマズの仲間のアリアケギバチが多良山系を源とする郡川等に生息しており、さらに湾内には生きた化石といわれるカプトガニや、世界で最も小さなクジラの仲間、生息数の減少が心配されているスナメリが生息しています。

表-付 4 大村湾及び流域における主な希少動植物等

種類	和名	生息生育地	カテゴリー	
			長崎県	環境省
維管束植物	ヤマシャクヤク	諫早市、大村市	EN	NT
	センダイソウ	大村市	NT	VU
	ツクシシャクナゲ	多良山系他	VU	-
	ノヒメユリ	長崎市、諫早市他	NT	VU
哺乳類	ヤマネ	多良山系	VU	-
海産哺乳類	スナメリ	大村湾他	EN	-
魚類	アリアケギバチ	大村市、諫早市他	EN	VU
剣尾類	カプトガニ	佐世保市、川棚町他	EN	CR+EN

《カテゴリー定義》

・絶滅危惧 類 (C R + E N)

絶滅の危機に瀕している種

現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なもの

・ A 類 (C R : Critically Endangered)

ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの

・ B 類 (E N : Endangered)

A 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの

・絶滅危惧 類 (V U : Vulnerable)

絶滅の危険が増大している種

現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧 類」のランクに移行することが確実と考えられるもの

・準絶滅危惧種 (N T : Near Threatened)

存続基盤が脆弱な種

現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに以降する要素を有するもの

(8) 隣接海域

大村湾と接続する唯一の海域である佐世保湾について、水質 COD の過去 10 年間の状況をとりました。その結果は図-付 7 のとおりです。

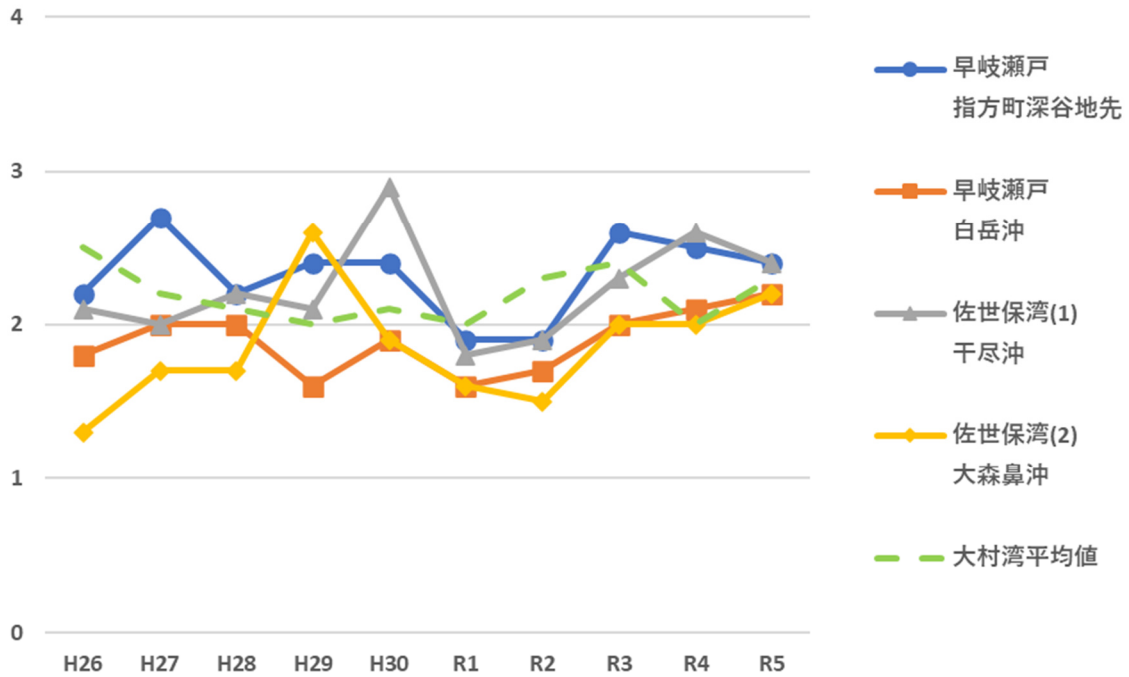


図-付 7 佐世保湾内の環境基準点における COD(75%値)の推移

出典：長崎県地域環境課「公共用水域水質測定結果」

(9) これまでの経過

大村湾については、現在に至るまでに水質対策や環境保全のための法律や条例などによる規制の取組等が続けられています。その中で主なものは表付-5 のとおりとなっています。

表付-5 大村湾の環境保全の歩み

時期	事象
昭和 47 年	大村湾における水質モニタリング開始
昭和 49 年	環境基準設定(海域 A 類型)
昭和 54 年	上乗せ排水規制 ²⁸⁾
昭和 60 年	大村湾水質保全要綱告示
昭和 63 年	横出し排水規制 ²⁹⁾
平成 3 年	生活排水対策重点地域指定(流域 3 市 8 町)
平成 12 年	全窒素・全リンの環境基準設定
平成 15 年	大村湾環境保全・活性化行動計画策定 (計画期間：平成 16 年度～平成 20 年度)
平成 20 年	第 2 期大村湾環境保全・活性化行動計画策定 (計画期間：平成 21 年度～平成 25 年度)
平成 25 年	第 3 期大村湾環境保全・活性化行動計画策定 (計画期間：平成 26 年度～平成 30 年度)
平成 30 年	第 4 期大村湾環境保全・活性化行動計画策定 (計画期間：平成 31 年度(令和元年度)～令和 7 年度)

第 5 期大村湾環境保全・活性化行動計画

令和 8 年 3 月

長崎県県民生活環境部地域環境課

〒850-8570 長崎市尾上町 3 番 1 号

TEL : 095-895-2355

